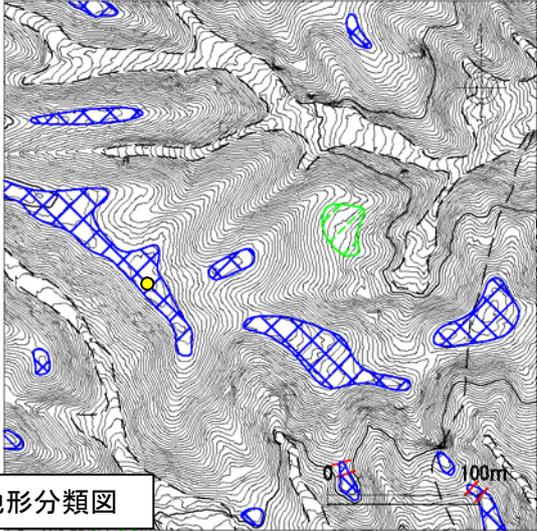
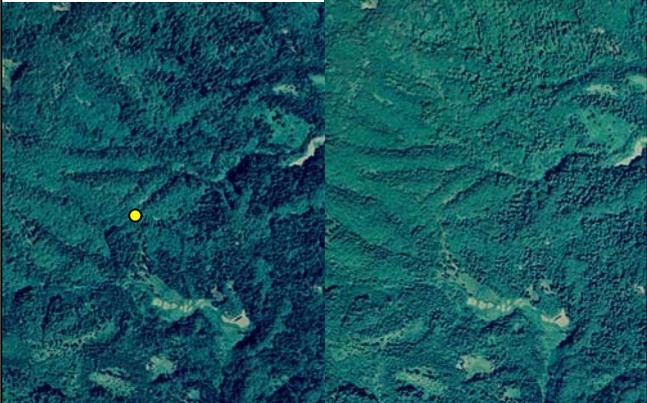


作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	(下唐川・中島)
対象地点の中心	北緯 37° 09' 40.71"	東経 136° 47' 47.44"	Area C(4)

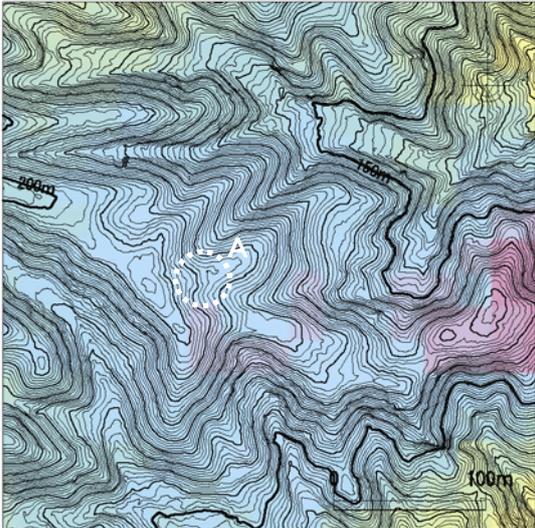
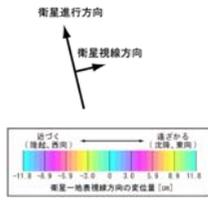
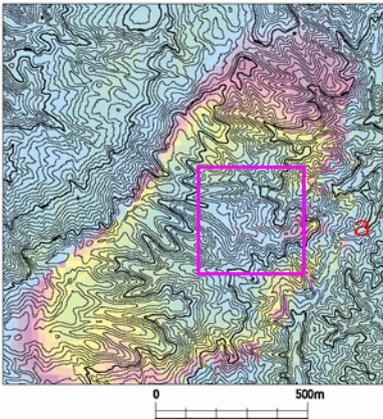
 <p>地形分類図</p> <p>背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p>  <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
---	--

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：(FBS) / (FBD) (2007年2月23日) / (FBS) / (FBD) (2007年4月10日)

衛星の視線方向：(西側上空から東向き) / (東側上空から西向き)

	 <p>(点 a は右図参照)</p>  <p>背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。</p> <p>Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI</p>
---	---

備考：

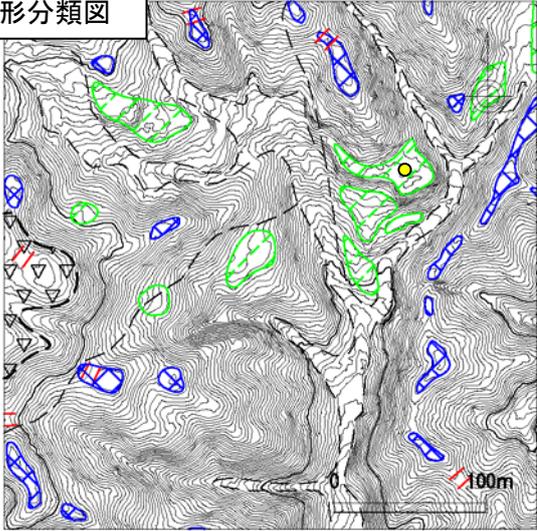
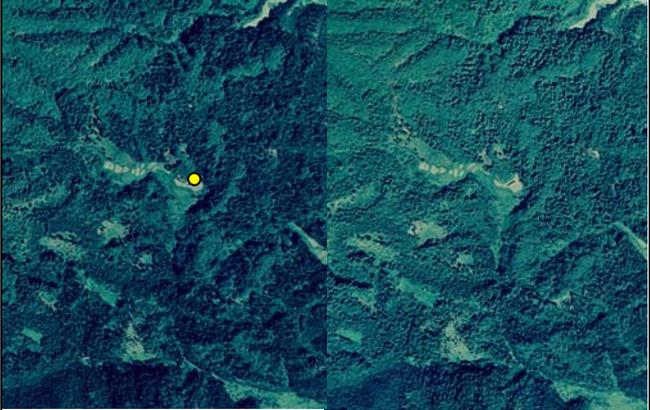
小起伏面～滑落崖上部

- ①干渉縞：不明瞭
- ②視線方向の色変化：(馬蹄形変動の外部の無変化の青色部分 a を基準に西から東へ向かって)
青→赤→黄→青色
- ③移動方向：東へ遠ざかるないしは沈降

宇根ほか(2008)により地表変動ベクトルが示された断面中央付近に位置し、上図の左に示す SAR 干渉画像中の A 地点 (遷緩線) 付近を境に、これより西で東向きと沈降変動卓越、東では東向きの水平変動が卓越するとされている。地形的には A 地点付近の急斜面を滑落崖、これより東の小起伏面を移動体と見なすことも可能であるが、地すべり地形と断定できるほど明瞭な滑落崖と移動体を認定するのは難しい。

作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	(下唐川・中島)
対象地点の中心	北緯 37° 09' 32.69"	東経 136° 47' 51.20"	Area C(5)

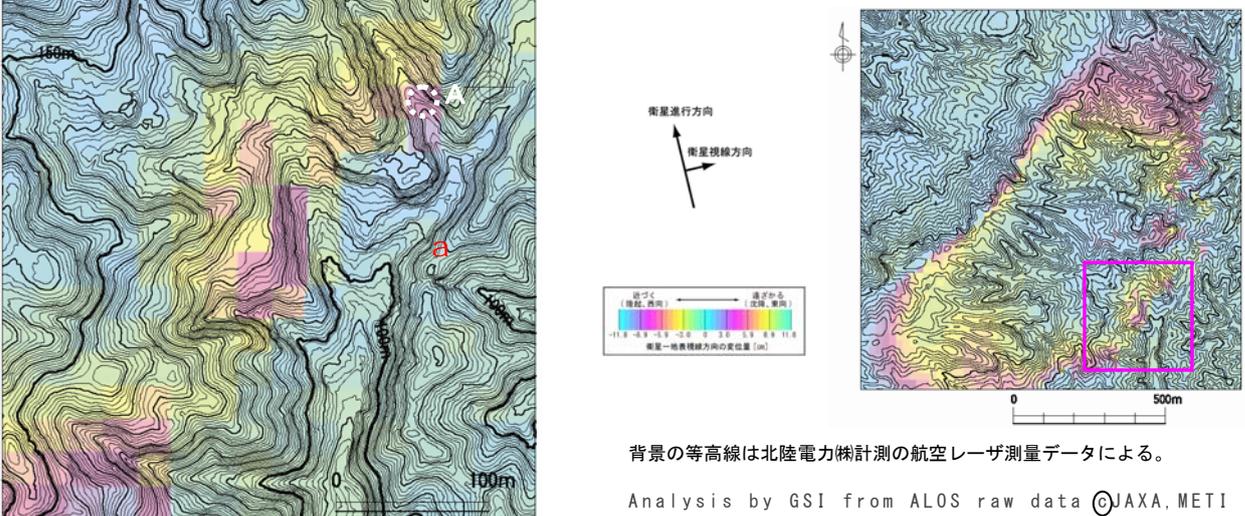
<p>地形分類図</p>  <p>背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p>  <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
---	---

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：FBS/FBD (2007年2月23日) / FBS/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き



背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。

Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI

備考：

小起伏面～滑落崖上部

①干渉縞：明瞭（断続的）

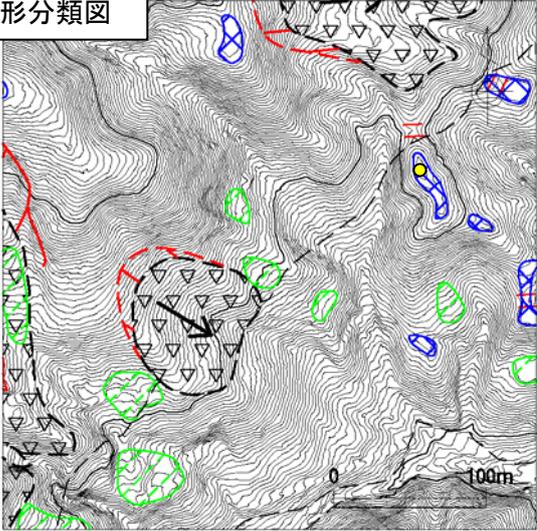
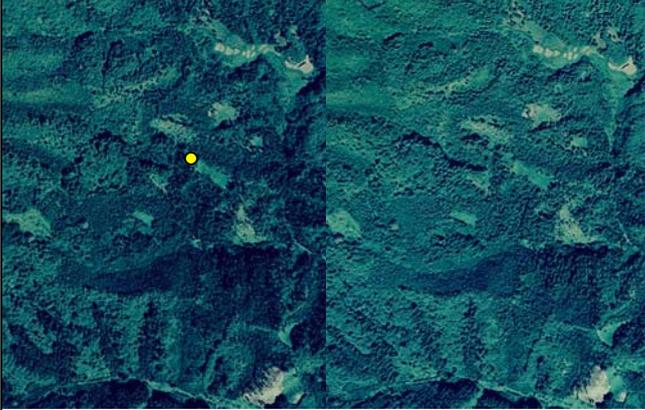
②視線方向の色変化：（馬蹄形変動の外部の無変化の青色部分 a を基準に東から西へ向かって）
青→赤→黄色

③移動方向：馬蹄形変動内部が東へ遠ざかるないしは沈降

干渉縞は断続的であるが、この付近には穴水層とその上位の堆積岩層との地質境界がある。調査地域の堆積岩層は全体に東ないし南東に傾斜するが、本地域ではA地点（上図の左）で北西傾斜となっている。河川は干渉縞付近で蛇行し、流域には緩斜面が分布する。干渉縞は小起伏面で明瞭である。

作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	(下唐川・中島)
対象地点の中心	北緯 37° 09' 24.87"	東経 136° 47' 39.84"	Area C(6)

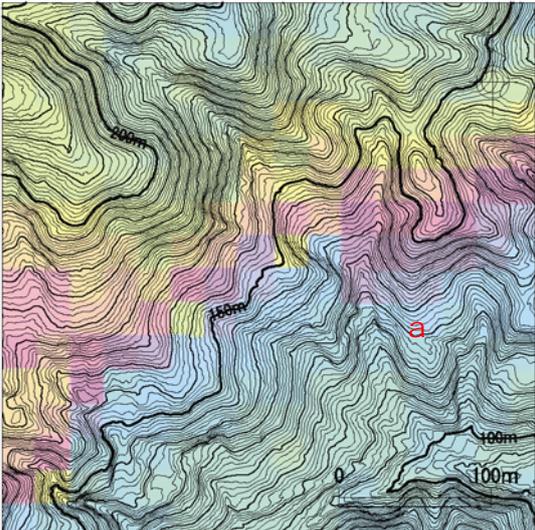
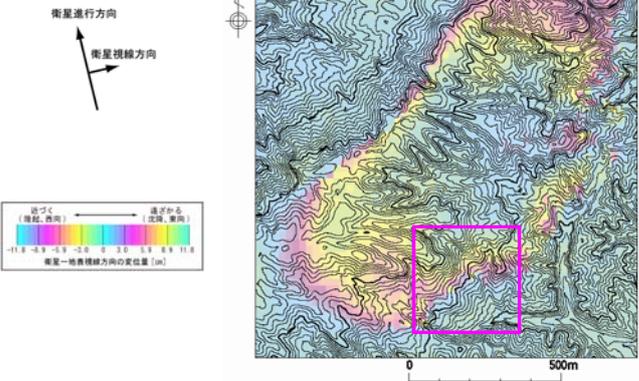
<p>地形分類図</p>  <p>背景の等高線は北陸電力株式会社の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p>  <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
---	---

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：FBS/FBD (2007年2月23日) / FBS/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き

	 <p>背景の等高線は北陸電力株式会社の航空レーザ測量データによる。</p> <p>Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI</p>
---	--

備考：

小起伏面～滑落崖上部

①干渉縞：明瞭（断続的）

②視線方向の色変化：（馬蹄形変動の外部の無変化の青色部分 a を基準に東から西へ向かって）

青→赤→黄→黄緑色

③移動方向：馬蹄形変動内部が東へ遠ざかるないしは沈降

干渉縞付近には穴水層とその上位の堆積岩層との地質境界がある。干渉縞と地形との間に明確な関連はない。